

# 令和元年度 施策評価シート

基本目標		安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	430	高齢者が生きがいをもって暮らせるしくみをつくる
施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する
施策の目標	高齢期を迎えた区民が、地域活動や趣味、特技を活かしたボランティア活動等を通じて社会参加し、生きがいをもち、充実感のあるセカンドライフを過ごしています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「生きがいがある」65歳以上の区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	72.0%				73.0%					75.0%
実績	71.1%									
指標名	シルバー人材センター就業延べ人員及び実就労者数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	延べ人員：182,883人 実就労者：1,370人	延べ人員：183,423人 実就労者：1,370人	延べ人員：183,963人 実就労者：1,380人	延べ人員：184,503人 実就労者：1,390人	延べ人員：185,000人 実就労者：1,400人	延べ人員：185,540人 実就労者：1,410人	延べ人員：186,080人 実就労者：1,420人	延べ人員：186,620人 実就労者：1,430人	延べ人員：187,160人 実就労者：1,440人	延べ人員：188,000人 実就労者：1,450人
実績	延べ人員：182,883人 実就労者：1,370人	延べ人員：165,479人 実就労者：1,272人	延べ人員：168,169人 実就労者：1,163人							

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>平成28年度墨田区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「生きがい」について「ある」と回答した高齢者が72.1%いる一方で、「思いつかない」と回答した高齢者が24.6%いた。このことから生きがいを感じられない高齢者が一定数存在していることがわかる。</p> <p>現在、人生を前向きにとらえている人は健康で長生きする傾向があることが明らかになっており、就業や社会的活動、多世代交流など多様な形で高齢期の社会生活を支援する必要がある。</p>	H28	425,761
	H29	461,824
	H30	394,575

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	多様な事業展開が高齢者の社会参加に対する選択肢を拡げ、高齢者の生きがいにつながっていることから、施策目標が一定程度達成されている。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
区内老人クラブの組織率など、既存の事業は一定の成果を上げており、翌年度の施策の方向性は現状維持とする。一方、比較的年齢の若い元気高齢者を中心に価値観が多様化しつつあり、既存の事業が高齢者の社会参加に結び付いていない面がある。既存の事業の質の向上が求められている。	
【今後の具体的な方針】	
比較的年齢の若い元気高齢者を社会参加へ結び付けていけるよう、事業の進め方について引き続き検討し、実施していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	シルバー人材センター運営 助成	98,461	1,969	100,430		183,963	現状維持
						168,169	平成30年度
2	老人クラブ連合会助成事業	12,233	984	13,217		95	現状維持
						93	平成30年度
3	老人クラブ運営助成事業	35,861	6,890	42,751		53,900	現状維持
						57,994	平成30年度
4	介護ボランティア・ポイント 制度	1,280	2,953	4,233	ボランティア活動を行う元気な高齢者を 増やすことで、高齢者自身の介護予防の 推進と地域活動への参加促進を図る。	203	改善・見直し
						183	平成30年度
5	セカンドステージ支援事業	2,850	1,969	4,819	元気高齢者(おおむね55歳以上)に対し て、セミナー等を通してセカンドステー ジにおける暮らし方やライフワークの見 つけ方に関するヒントを得る機会を提供 する。また、シニア人材バンクで高齢者 が活動できる場を提供する。これによ り、高齢者が地域において支える側とし て生きがいを持って活動していくことが 期待される。	150	現状維持
						114	平成30年度
6	にこにこ入浴デー事業費	88,112	3,937	92,049		294,000	現状維持
						288,667	平成30年度
7	元気高齢者施設「いきいき プラザ」管理運営費	45,869	2,953	48,822	高齢者自身が参画・活動できる事業を 実施し、元気高齢者の社会参加や自己実現 を図る。また介護予防トレーニングや 講座などの介護予防事業を実施して いる。	65,000	現状維持
						57,668	平成30年度
8	高齢者福祉センター運営 経費	74,363	2,953	77,767	高齢者自身が参画・活動できる事業を 実施し、元気高齢者の社会参加や自己実現 を図る。また介護予防トレーニングや ウォーキング教室などの介護予防事業を 実施している。	101,000	現状維持
						104,778	平成30年度
9	ふれあい給食事業助成	2,292	984	3,276	保育園児との世代間交流を通し て、高齢者の孤独感が解消され、 地域社会との交流が進むととも に、生きがいをもった生活が送れ る。	3,886	現状維持
						3,508	平成30年度
10	長寿者に対する祝金の贈 呈事業費	27,149	3,937	31,086	長年にわたり社会に尽く してきた高齢者を敬愛 し、長寿を祝うことで生 きがい創出する。	4,054	現状維持
						3,988	平成30年度
11	すこやか長寿夫婦表彰経 費	1,076	2,953	4,029		150	現状維持
						338	平成30年度
12	長寿マッサージ事業費	4,761	1,969	6,730		1,780	現状維持
						1,736	平成30年度
13	姉妹区提携交流ゲートボ ール大会	268	984	1,252		140	現状維持
						132	平成30年度



事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1880	R7	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,840	1,850	1,860	1,870	1,880
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会員の就業拡大のためには、まずは会員数を増やす必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
188,000		R7	目標	182,883	183,423	183,963	184,503	
			実績	184,477	165,479	168,169		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		185,000	185,540	186,080	186,620	187,160	188,000	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業拡大を表す数値であるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後も、シルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。

課題・問題点
新規会員の確保が課題である。昨今、労働力人口の減少により、各種求人が増えている。高齢者の就業先として多様な選択肢が用意されているため、現在はシルバー人材センターだけが高齢者の就業の受け皿ではなくなっており、新規会員の確保が難しくなっている。

補助金名称	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金		主管課・係（担当）
根拠法令	公益社団法人墨田区シルバー人材センター補助金交付要綱		高齢者福祉課支援係
補助概要	公益社団法人墨田区シルバー人材センターの運営費を一部補助する。		5608-6168
目的	公益社団法人墨田区シルバー人材センターに対し、補助金を交付することにより、事業運営を円滑にし、センターの充実と発展に寄与する。 なお、シルバー人材センターは、就労を通じた高齢者の生きがいづくりを支援し、地域社会の活性化に寄与する団体である。		
対象	公益社団法人墨田区シルバー人材センター		
基準	区独自基準		
補助条件	以下のとおり、補助金の交付を行う。 1 補助対象事業 (1) 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、調査・相談等 (2) 向島、緑両作業所の運営 2 補助対象経費 補助対象事業に係る職員人件費、管理運営費、事業費の一部		
経過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	[昭和56年4月] 補助金交付開始 [平成29年4月] 労働者派遣事業開始		
議会質問の状況	[平成30年1定] センターへの支援について（就労対策と生きがい対策） [平成30年決算特別委員会] センターの運営助成費について [平成31年1定] アクティブシニアの方々への施策について [平成31年1定] シルバー人材センターの活用について		
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 23区すべてが補助を実施している		

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		106,666	102,626	101,873	107,997	103,164	102,424
決算額（令和元年度は見込み）		106,666	101,946	101,873	107,997	98,411	102,424
財源	国						
	都	12,495	12,495	12,495	13,433	13,484	13,892
	その他						
一般財源		94,171	89,451	89,378	94,564	84,927	88,532
執行率（％）		100.0%	99.3%	100.0%	100.0%	95.4%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,880	R7	目標	1,798	1,800	1,810	1,820
				実績	1,798	1,721	1,724	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,830	1,840	1,850	1,860	1,870	1,880
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	会員の就業拡大のためには、まずは会員数を増やす必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	就業延べ日人員				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		188,000	R7	目標	182,883	183,423	183,963	184,503
				実績	184,477	165,479	168,169	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		185,000	185,540	186,080	186,620	187,160	188,000	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
会員の就業拡大を表す数値であるため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		<p>シルバー人材センターは、高齢者のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供することにより、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現に貢献している。今後も、シルバー人材センターが安定的な運営を図れるよう必要な支援を行っていく。</p>						

課題・問題点	
<p>新規会員の確保が課題である。昨今、労働力人口の減少により、各種求人が増えている。高齢者の就業先として多様な選択肢が用意されているため、現在はシルバー人材センターだけが高齢者の就業の受け皿ではなくなっており、新規会員の確保が難しくなっている。</p>	



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	連合会関係事業参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		20,000	R7	目 標	22,000	22,000	22,000	20,000
				実 績	21,639	20,823	18,842	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	参加者数の増加は、多くの高齢者の生きがいにつながるため。なお、老人クラブへの加入者が減少傾向であるため、令和元年度以降の目標値を修正している。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	墨老連関係事業数				単 位	事業
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
95		R7	目 標	95	95	95	95	
			実 績	93	93	93		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	95	95	95	95	95	95		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
墨田区老人クラブ連合会主催の事業数が増加することは、各老人クラブの活動を側面から支援したことにつながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨田区老人クラブ連合会は、軽スポーツ大会、文化的活動、研修会や旅行などの様々な事業を主催し、高齢者の活躍の場の創出、閉じこもり防止に寄与している。墨田区老人クラブ連合会が各老人クラブの活動を下支えしていることが、区の老人クラブの高い組織率に結び付いている。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。

課題・問題点
墨田区老人クラブ連合会主催の事業には、老人クラブに属していない区民も参加できるようにしている。事業への参加をきっかけとして、老人クラブへの加入に結び付けたいが、なかなか入会に結び付かない。

補助金名称	老人クラブ連合会助成		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区老人クラブ連合会助成要綱		高齢者福祉課支援係
補助概要	墨田区老人クラブ連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより、各老人クラブの活動を側面から支援する。		03-5608-6168
目的	連合会が実施する事業に対して、その経費の一部を助成することにより老人福祉の増進に資する。		
対象	墨田区老人クラブ連合会		
基準	区独自基準		
補助条件	助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要。		
経過	開始年度	昭和46年度	終了予定
	[昭和46年度] 助成開始		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 各区とも連合会へ助成金を出しているが、助成額は様々である。		

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		11,669	14,272	11,882	11,961	12,260	12,599
決算額（令和元年度は見込み）		11,669	14,254	11,864	11,916	12,233	12,599
財源	国						
	都	998	986	974	896	934	947
	その他						
一般財源		10,671	13,268	10,890	11,020	11,299	11,652
執行率（％）		100.0%	99.9%	99.8%	99.6%	99.8%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	連合会関係事業参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		20,000	R7	目標	22,000	22,000	22,000	20,000
				実績	21,639	20,823	18,842	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	参加者数の増加は、多くの高齢者の生きがいにつながるため。なお、老人クラブへの加入者が減少傾向であるため、令和元年度以降の目標値を修正している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	墨老連関係事業数				単位	事業
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		95	R7	目標	95	95	95	95
				実績	93	93	93	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		95	95	95	95	95	95	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
墨田区老人クラブ連合会主催の事業数が増加することは、各老人クラブの活動を側面から支援したことにつながるため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		墨田区老人クラブ連合会は、軽スポーツ大会、文化的活動、研修会や旅行などの様々な事業を主催し、高齢者の活躍の場の創出、閉じこもり防止に寄与している。墨田区老人クラブ連合会が各老人クラブの活動を下支えしていることが、区の老人クラブの高い組織率に結び付いている。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。						

課題・問題点	
<p>墨田区老人クラブ連合会主催の事業には、老人クラブに属していない区民も参加できるようにしている。事業への参加をきっかけとして、老人クラブへの加入に結び付けたいが、なかなか入会に結び付かない。</p>	



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金交付件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		156	R7	目 標	154	150	151	150
				実 績	152	149	150	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	151	152	153	154	155	156	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	老人クラブ活動回数				単 位	回
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
54,600		R7	目 標	53,800	53,800	53,900	54,000	
			実 績	53,791	62,507	57,994		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数の増加は、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	高齢者の老人クラブへの加入率は23区トップクラスである。老人クラブでの活動は、組織活動であり、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動(高齢者の見守り)等での活躍が期待される。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人クラブ会員数が、高齢化により減少傾向である。また、会長の後継者がおらず、長年勤めた会長がクラブをやめてしまうと、会長のなり手がおらず、クラブを解散してしまう傾向にある。</li> <li>・ 新規会員(特に60代の若い世代)の入会が少ない。現代は、雇用期間の延長や、価値観の多様化等により、60歳になっても老人クラブに入会しない方が多い傾向にある。</li> </ul>

補助金名称	老人クラブ運営助成		主管課・係（担当）
根拠法令	墨田区老人クラブ助成要綱		高齢者福祉課支援係
補助概要	老人クラブ活動（社会奉仕活動、友愛活動、健康をすすめる活動、生きがいを高める活動）の経費に対し補助する。		03-5608-6168
目的	墨田区内の老人クラブの活動に対して、その運営を助成し、老人福祉の増進に資する。		
対象	区内老人クラブ		
基準	区独自基準		
補助条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>「墨田区老人クラブ運営基準」に準拠して運営される老人クラブで、設立後継続して3カ月以上活動を続けているもの</li> <li>助成金交付申請書、事業計画書、収支予算書の提出が必要</li> </ul>		
経過	開始年度	昭和40年度	終了予定
	<p>[昭和40年度] 助成実施</p> <p>[平成3年度] 老人クラブ助成要綱改正（交付時期2回 1回、助成額各ランク1,000円増）</p> <p>[平成12年度] 老人クラブ助成要綱改正（助成月額10%減額、特別事業費24,000円 21,600円）</p> <p>[平成30年度] 老人クラブ助成要綱改正（特別事業費を廃止し、助成金に上乗せ 助成額各ランク1,800円増）</p>		
議会質問の状況	[平成30年決算特別委員会] 助成金増額要望書及び助成金支出の見直しについて		
その他特記事項	<p>（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）</p> <p>各区とも老人クラブへ助成金を出しているが、助成額は様々である。</p>		

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		37,468	37,716	36,825	36,363	36,060	36,578
決算額（令和元年度は見込み）		37,395	36,755	36,593	35,835	35,819	36,578
財源	国						
	都	4,435	4,370	4,370	4,291	4,291	4,378
	その他						
一般財源		32,960	32,385	32,223	31,544	31,528	32,200
執行率（%）		99.8%	97.5%	99.4%	98.5%	99.3%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		150	R7	目標	154	150	151	150
				実績	152	149	150	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150	150	150	150	150	150
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	交付件数の増加は、区内老人クラブの増加を意味し、クラブが増加することで、高齢者が活動する場が増えるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	老人クラブ活動回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		54,600	R7	目標	53,800	53,800	53,900	54,000
				実績	53,791	62,507	57,994	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		54,100	54,200	54,300	54,400	54,500	54,600	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動回数の増加は、老人クラブに加入している高齢者の生きがいにつながっているため。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		<p>高齢者の老人クラブへの加入率は23区トップクラスである。老人クラブでの活動は、組織活動であり、高齢者の健康づくりや生きがいづくりのほか、地域での介護予防の担い手や友愛実践活動（高齢者の見守り）等での活躍が期待される。このことから、今後も助成金事業を継続して実施する。</p>						

課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人クラブ会員数が、高齢化により減少傾向である。また、会長の後継者がおらず、長年勤めた会長がクラブをやめると、会長のなり手がおらず、クラブを解散してしまう傾向にある。</li> <li>・ 新規会員（特に60代の若い世代）の入会が少ない。現代は、雇用期間の延長や、価値観の多様化等により、60歳になっても老人クラブに入会しない方が多い傾向にある。</li> </ul>	



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	受入施設数				単 位	施設
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		65	令和7年度	目 標	44	49	51	53
				実 績	47	49	52	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	55	57	59	641	63	65	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	高齢者がボランティア活動を行うことができる施設の選択肢が増えることによって、より活発な活動を期待できるようになる。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	登録人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
224		令和7年度	目 標	200	200	203	206	
			実 績	195	196	183		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	209	212	215	218	221	224		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
本制度に登録する高齢者の人数の推移により、事業の目的の達成の度合いを測ることができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	受入れ施設を増やすことでボランティアの活動の場を確保し、ボランティア数の一層の増加を図る。

課題・問題点
各施設におけるボランティアの定着化が進んだ一方、メンバーが固定化傾向にあるため新規受入れ枠が減少している状況にある。 登録ボランティアが十分に活動できる場を確保するため、受入れ施設を増やす必要がある。



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	実績報告				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		12	37	目 標	12	12	12	12
				実 績	12	12	12	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	12	12	12	12	12	12	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業委託先(現在は一ねん・どすこい倶楽部)に毎月の実績報告書を提出させ、活動内容を明らかにすることで事業の安定的な運営を図るため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	シニア人材バンク派遣件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		150	37	目 標	150	150	150	150
				実 績	136	128	114	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	150	150	150	150	150	150	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
シニア人材バンクの派遣件数は、高齢者の生きがいに満ちた暮らしにつながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	セミナーや講座については、毎回、満員御礼である。また、リピーターだけではなく、新たな元気高齢者を呼び込んでいる。このことは、セミナーや講座に参加している高齢者の閉じこもり防止、生きがい創出、社会参加につながっている。

課題・問題点
セミナーや講座に参加している高齢者自身の社会参加、生きがい創出につながっている事業ではあるが、人材バンクの登録者は伸び悩んでいる。ボランティア活動をしたい高齢者を如何に地域活動へつなげていくかが課題である。



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	にここ入浴実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2,000	令和7年度	目 標	1,400	1,800	1,951	2,000
				実 績	1,407	1,811	1,957	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者のふれあいの機会創出につながるため。なお、平成29年度は年度途中で浴場数に変動があり、平成30年度は年度途中で休業した浴場があったため、目標値の修正を行っている。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	にここ入浴利用者延べ人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
294,000		令和7年度	目 標	290,000	293,000	294,000	294,000	
			実 績	293,654	288,275	288,667		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	294,000	294,000	294,000	294,000	294,000	294,000		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者が1人でも触れれば、高齢者の閉じこもり防止、ふれあい交流につながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	入浴証引換券発送数が約6万人強、無料入浴券引換人数が約1万人弱、無料入浴の年間延利用者数は約29万人となっている。以上のとおり、本事業は多くの高齢者の閉じこもり防止、ふれあいにつながっており、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
経営者の高齢化や燃料費の高騰などにより、公衆浴場が年々減少している。



事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	モニタリング実施率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	R7	目 標	100	100	100	100
				実 績	100	100	100	100
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	100	100	100	100	100	100	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	指定管理施設として、適切に施設が管理運営されていることを定期的に確認する必要があるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	年間延べ利用者人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
70,000		H32	目 標	60,000	65,000	65,000	65,000	
			実 績	65,700	65,948	57,668		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用者があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	体操等の介護予防事業や将棋・囲碁教室等の趣味・いきがい講座をはじめ、近隣の児童館等との連携による幅広い世代との交流イベントも開催され、利用者から御好評いただいている。今後は利用者同士の支え合いを基盤とした「団体の自主化」につながるように支援を強化していく。

課題・問題点
<p>高齢者が更に増加することが予測されており、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。  今後、現在以上に施設の役割が重要となってくるため、的確に利用者のニーズに対応した事業を取り入れていけるような体制を整える必要がある。</p>

施 策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する	部内優先順位
事 業 名	高齢者福祉センター運営経費		8
目 的	高齢者に対して健康の増進と教養の向上のため各種サービスを提供することにより、高齢者の福祉の充実を図る。		主管課・係（担当）
			高齢者福祉課相談係 03-5608-6171
対 象 者	(1) 区内に住所を有する60歳以上の高齢者及びその介護者並びにボランティア (2) (1)の高齢者、介護者又はボランティアの組織する団体 (3) 指定管理者が特に認める者及び団体		
根拠法令 関連計画	・ 墨田区高齢者福祉センター条例、同施行規則 ・ 墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 経過欄のとおり
事業内容	施設が主催する体操や卓球等の健康の保持と増進に関する教室及び囲碁・将棋教室等の教養講座の実施や自主サークルが活動を行う場所の提供を行い、高齢者の福祉の充実を図る。		
経 過	開始年度	平成6年	終了予定
	立花ゆうゆう館 平成6年開設。平成18年度から指定管理者制度を導入。第1期は墨田区社会福祉事業団(平成18年4月1日から平成21年3月31日まで)、第2期(平成21年4月1日から平成24年3月31日まで)、第3期(平成24年4月1日から平成29年3月31日まで)、第4期(平成29年4月1日から令和4年3月31日まで)はNPO法人てーねん・どすこい倶楽部が指定管理者である。 梅若ゆうゆう館 平成12年4月に開設し、平成18年度から指定管理者制度を導入した。平成18年度から、指定管理者は墨田区社会福祉事業団であり、現在3期目である(平成28年4月1日から令和3年3月31日まで)。		
議会質問 の 状 況	[平成28年2定] 元気高齢者施設の増設について [平成29年予算特別委員会] 稼働率(畳の部屋)について [平成30年予算特別委員会] 医療連携、自主事業について		
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 令和2年度に梅若ゆうゆう館、令和3年度に立花ゆうゆう館の指定管理者の選定作業を予定している。		

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		68,170	69,717	73,637	107,354	75,624	89,641
決算額(31年度は見込み)		66,673	68,026	71,820	94,774	74,363	89,641
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	8,577	8,577
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		66,673	68,026	71,820	94,774	66,237	81,064
執行率(%)		97.8%	97.6%	96.9%	88.3%	97.5%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理料	57,429	委託料	指定管理料	57,929	委託料	指定管理料	64,972
使用料および賃借料	土地賃借料、空調機リース	14,193	使用料および賃借料	土地賃借料、空調機リース	14,041	使用料および賃借料	土地賃借料、空調機リース	14,508
工事請負費		19,719	工事請負費		488	工事請負費		9,231
備品購入費		2,539	備品購入費		1,171	備品購入費		0
需用費	光熱水費	897	需用費	光熱水費	739	需用費	光熱水費	930

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	モニタリング実施率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		100	100	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	100	100	100	100	
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区の指定管理施設として、適切に施設が管理運営されていることを定期的に確認する必要があるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	年間延べ利用者人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31	
103,000		H37	目標	101,400	100,000	101,000	102,000	
			実績	99,133	102,099	104,778	0	
		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	目標	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	103,000	
	実績	0	0	0	0	0	0	
指標の選定理由及び目標値の理由								
一人でも多くの利用者があれば、それだけ高齢者にとって有意義な施設となり、元気で生きがいに満ちた高齢者の暮らしを支援できたことになるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	無料で利用できる施設の利点を生かし、多くの元気高齢者が、様々な面で社会参加と自己実現を目指せる拠点として認知しており、利用者数も目標を達成している。 今後も、施設が担うべき社会的役割(就労支援、仲間づくり等)や、利用者のニーズに対応した事業を取り入れ、さらに利用者の満足度の向上に努めていく。

課題・問題点
高齢者が更に増加することが予測されており、多種多様なニーズが増加することが見込まれる。 今後、現在以上に施設の役割が重要となってくるため、適格に利用者のニーズに対応した事業を取り入れていけるような体制を整える必要がある。



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		255	R7	目 標	182	175	184	195
				実 績	317	169	187	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	205	215	225	235	245	255	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため。目標値は、H30年度の 前年度比から設定する。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	参加延べ人数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
4,007		R7	目 標	3,964	3,829	3,886	3,944	
			実 績	3,643	3,514	3,508		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	3,999	4,043	4,064	4,064	4,043	4,007		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢 者数を表しているため。各園の定員数の合計を最終目標値として目標値を設定する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が 給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きが い対策の一助となっている。このため、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
課題は実施園の拡大である。

補助金名称	ふれあい給食事業助成		主管課・係（担当）			
根拠法令	墨田区ふれあい給食事業助成金交付要綱		高齢者福祉課支援係			
補助概要	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対し、経費の一部を助成している。		03-5608-6168			
目的	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園に対しその経費の一部を助成することにより、円滑な事業の運営を促す。					
対象	ふれあい給食事業を行う私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園					
基準	区独自基準					
補助条件	助成を希望する私立保育所及び私立幼保連携型認定こども園は、年度当初に助成金交付申請書と事業計画書を区長に提出し、事業年度終了後30日以内に、実績報告書と請求書を提出する。					
経過	開始年度	平成2年度	終了予定	令和7年度		
	[平成2年度] 事業開始 [平成14年度] ふれあい給食事務費の一部（各園年間60千円）を廃止					
議会質問の状況						
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 保育園児との交流事業としては墨田区のみ実施。サロン等で高齢者のみの会食事業は14区で実施。					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		3,071	2,807	2,807	2,893	2,747	2,837
決算額（令和元年度は見込み）		2,989	2,728	2,601	2,299	2,292	2,837
財源	国						
	都	1,535	1,391	1,403	1,384	1,300	1,418
	その他						
一般財源		1,454	1,337	1,198	915	992	1,419
執行率（％）		97.3%	97.2%	92.7%	79.5%	83.4%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		255	R7	目標	182	175	184	195
				実績	317	169	187	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	205	215	225	235	245	255
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど、高齢者の外出の機会や地域との交流の機会が多くなるため。目標値は、H30年度の前年度比から設定する。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	参加延べ人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4,007	R7	目標	3,964	3,829	3,886	3,944
				実績	3,643	3,514	3,508	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		3,999	4,043	4,064	4,064	4,043	4,007	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
参加延べ人数は、本事業が、地域社会との交流の促進や健康増進、生きがいの創出に寄与した実際の高齢者数を表しているため。各園の定員数の合計を最終目標値として目標値を設定する。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		本事業は、核家族化が進み、日頃ふれあうことの少ない地域の高齢者と保育園児が給食を通してふれあい、園児の豊かな人間性の育成や高齢者の孤独感の解消、生きがい対策の一助となっている。このため、今後も引き続き継続して実施していく。						

課題・問題点	



事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	チラシ発行部数				単 位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26,400	R7	目 標	26,400	26,400	26,400	26,400
				実 績	26,400	26,100	23,692	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	贈呈の趣旨や方法をあらかじめ周知することにより、効率よく祝金の配布できるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	贈呈者数(最高齢者・百歳・米寿・喜寿)				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
6,000		R7	目 標	3,808	4,040	4,054	4,022	
			実 績	3,780	3,936	3,988		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	4,101	3,758	4,376	5,675	5,680	6,000		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
祝金の贈呈が高齢者の生きがい、励みとなるため。 なお、目標数は現時点での対象者数であるため、死亡、転出等により変動する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	長寿者祝金は区民からのニーズが高く、高齢者の長寿を目指すきっかけになっているため、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
特に、米寿・喜寿の方に対する祝い金の贈呈は件数も多く、配布の負担が大きい。



事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	チラシ配布数				単 位	枚
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		26,400	令和7年度	目 標	80	26,400	26,400	26,400
				実 績	100	23,987	23,843	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	26,400	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業内容を広く周知することで高齢者の励みの機会創出につながるため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	表彰件数				単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
130		令和7年度	目 標	130	130	150	130	
			実 績	130	213	338		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	130	150	130	130	150	130		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
金婚を表彰することが高齢者の励みにつながるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	高齢者の励みとなる表彰制度であり、区民から喜びの言葉も多い。平成30年度から贈呈品を変更し、表彰件数も増加していることから今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点



事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 ( 活 動 指 標 )	指 標	実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		370	令和7年度	目 標	456	445	445	370
				実 績	456	454	440	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	370	370	370	370	370	370	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者の健康増進や外出機会の創出につながる。なお、令和元年度に実施施設が19床から16床に減少したため、目標値を修正している。							
	目 的 に 対 する 指 標 ( 成 果 指 標 )	指 標	利用者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
1,480		令和7年度	目 標	1,824	1,780	1,780	1,480	
			実 績	1,799	1,795	1,736		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者数は、本事業が健康増進や閉じこもり防止に寄与した高齢者数を示しているため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	マッサージ施術により、高齢者の健康増進に寄与するとともに外出機会の創出につながっている。また、施術は墨田区視覚障害者福祉協会に依頼しており、障害者の社会貢献の一端を担う事業ともなっているため、今後も引き続き継続して実施していく。

課題・問題点
施術者の高齢化が進んでいる。

補助金 名称	長寿マッサージ事業に係る団体損害保険		主管課・係（担当）
根拠法令	30墨福高第1119号		高齢者福祉課・支援係
補助概要	長寿マッサージ事業の施術において、施術者が区民に損害を与えた場合に速やかに保障するため、各施術者が団体損害保険に加入している。		03-5608-6168
目的	施術者が団体損害保険に加入することにより、区民が安心・安全に施術を受けることができる。		
対象	長寿マッサージ施術者		
基準	区独自基準		
補助条件	本事業のマッサージ施術に起因する事故等に対応できる保険であること。		
経過	開始年度	平成25年度	終了予定
	<p>長寿マッサージ事業利用登録者の高齢化等に伴い、施術時に負傷などの事故が発生する危険性が高まってきた。そこで、施術を依頼している墨田区視覚障害者協会で、本業務の内容に特化した補償内容を有する団体損害保険に加入し、その経費に関して実費弁償としての補助金申請があった。この保険に加入することが事業の安全な運営に資するものであり、補助することが妥当であると認めため、交付決定に至った。</p> <p>なお、当該保険は加入が原則施術者個人単位となっているため、区が加入者になることができないものである。</p>		
議会質問 の状況			
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		63	69	66	50	43	41
決算額（令和元年度は見込み）		48	43	46	43	40	41
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		48	43	46	43	40	41
執行率（％）		76.2%	62.3%	69.7%	86.0%	93.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		370	令和7年度	目標	456	445	445	370
				実績	456	454	440	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	370	370	370	370	370	370
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施回数が多いほど高齢者の健康増進や外出機会の創出につながる。なお、令和元年度に実施施設が19床から16床に減少したため、目標値を修正している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	保険適用件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		0	令和7年度	目標	0	0	0	0
				実績	0	0	0	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		0	0	0	0	0	0	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民が安全に施術を受けられることが理想のため、目標値は0件に設定した。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		区民が安全に施術を受けられるよう、今後も引き続き継続して保険に加入する。						

課題・問題点	

施策	431	元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する			部内優先順位
事業名	姉妹区提携交流ゲートボール大会経費				13
目的	ゲートボールを通して、墨田区・台東区両区の親善交流と健康増進を図り、高齢者の生活を生きがいのある、明るく、豊かなものとする。				主管課・係（担当）
					高齢者福祉課支援係 03-5608-6168
対象者	墨田区、台東区に居住する概ね60歳以上の者で編成されたチーム				
根拠法令 関連計画	単年度決裁				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1・委託先：株式会社フォーライト
事業内容	毎年度1回、墨田区と台東区の高齢者が、ゲートボールの親善交流試合を行う。				
経過	開始年度	昭和52年度	終了予定		
	[昭和52年] 台東区と姉妹区提携 [昭和57年] 第一回姉妹区ゲートボール大会開催				
議会質問 の状況					
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		244	430	247	448	383	484
決算額（令和元年度は見込み）		233	391	220	422	268	336
財源	国						
	都						
	その他		175		155		167
一般財源		233	216	220	267	268	169
執行率（％）		95.5%	90.9%	89.1%	94.2%	70.0%	69.4%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	食糧費、一般需用費	20	需用費	食糧費	8	報償費	看護師謝礼	6
役務費	郵便料金、保険料	22	負担金補助及び交付金	大会経費分担金	260	需用費	食糧費、一般需用費	215
委託料	会場設営・撤去	200				役務費	通信運搬料、保険料	22
使用料及び賃借料	会場使用料	11				委託料	会場設営・撤去	230
						使用料及び賃借料	会場使用料	11

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	大会の実施回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1	R7	目 標	1	1	1	1
				実 績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	1	1	1	1	1	1	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	年に1回以上、安定的に事業を実施する必要があるため。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	出場者の数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
100		R7	目 標	140	140	140	140	
			実 績	140	140	132	113	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	110	110	110	110	110	110		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
出場者数の増加が、高齢者の健康増進、生きがい創出につながるため。 なお、令和元年度の出場者数が減ったため、目標値を修正している。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>高齢者の健康増進及び墨田区・台東区の親善交流につながるため、今後も引き続き継続して実施していく。</p> <p>なお、ゲートボール人口が減少しており、近年は出場者数・出場チームの確保が難しくなっている。今後は、複数スポーツの交流試合を行うなど、出場者確保の取組みが求められている。</p>

課題・問題点
<p>高齢者を対象としたスポーツ事業として、ゲートボールの他、輪投げ大会、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会等が挙げられる。交流試合の種目として設定できないか、検討していく。</p>